



地域新聞

ひまわり

社会福祉法人ひまわりっこ
小規模保育園ひまわりっこ
長岡京市一文橋2丁目34-9
075-952-4177
NO. 72

残暑お見舞い申し上げます

日頃は、社会福祉法人ひまわりっこの運営にご支援、ご理解頂き有難うございます。5月には、ひまわりフェスティバルを開催致しました。地域の皆様には御協力頂き本当に有難うございました。お蔭様で、無事終えることができました。

今年は、命に関わる程の暑さと言うことで、地域の皆様も色々暑さ対策等、大変だったのではないのでしょうか。残暑もまだ厳しい折、夏の疲れが出ないようにお過ごし下さい。

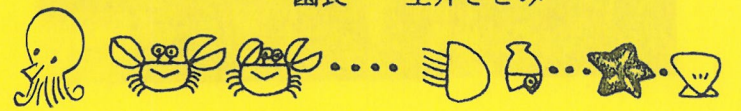
さて、ひまわりっこ子どもたちは、0、1、2歳児と小さい子どもたちばかりで、やはり日々の健康管理には気の抜けない事もありました。しかしながら何とか夏を過ごしてきました。夏の遊びはやはりプール遊びが大好きな子どもたちです。ひまわりっこでも小さいプールですが、楽しむ事が出来ました。0歳児さんも水の量を加減して入ります。するとまだ、這い這いしかしていない子も、少ない水のプールを楽しそうに動きまわっています。1、2歳児さんは少しずつ慣れる様にと、水の量を段々増やします。一ヶ月程経つと殆どの子どもたちは、足をのびし両腕でスイスイ動きまわっています。からだもしっかり日に焼け、一段と成長した様です。秋に向けての活動が楽しみな子どもたちです。

この6月には、地震、大雨や経験のない猛暑と災害が続きました。日々、元気な笑顔の子どもたちとすごしていて、「又大きな地震が起きるかもしれない」とふと頭をよぎります。「まず自分の身は自分で守らなくてはならない」と言われています。ひまわりっこでは定期的に避難訓練を行っています。しかし、自分の身を守るのも大切ですがそれと同時に、周りとの連携も大切だと改めて痛感しました。地域の子どもたちを守る為にはどうすればよいのか。いざと言う時の地域との連携とは…。今までは、地域の皆様には助けて頂く事の多かったひまわりっこでした。これからも、助けて頂く事もあると思いますが、微力ではありますが出来る事には、取り組んでいければと思います。そういう事をしっかり形にできていれば子どもにも、大人にも安心して生活できる地域になるのではと色々改めて考える夏になりました。

園長 土井さとみ



『ひまわり姉妹』



保護者 山本 結

昨年度より娘二人“ひまわり”でお世話になっております。

入園当初、0歳と2歳だった娘達もおかげ様ですっかり元気な『ひまわりっこ』に成長しています。先日の懇談会で、日中の子供たちの様子を録画映像で見せていただきました。小麦粉粘土、泡やぬたくり遊び、泥んこ遊びや毎日入るプールと笑顔がはじける子供たちの姿。生き生きとした表情で様々なモノを見たり触ったりして、刺激いっぱいの毎日を過ごしている様子が伝わってきました。

日中に親の手を離れて一日を過ごせるだろうか、また私も新しい職場への仕事復帰で生活スタイルの変化に不安もありましたが、今は毎日慌ただしくも親子共々、充実した日々を送っています。生活リズムもできあがり子供たちも日に日に活発に、そして食欲も旺盛に。

ひまわりの良いところの一つに『食育』があげられると思います。旬の食材や手作りおやつ、また化学調味料を使わない安全な給食はもちろん、大人と同じ陶器の食器を自分で席まで運んで正しく並べること、「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶、そして子供一人一人にアレルギー対応の食材選びや食器やスプーンのサイズ調整、おかわり自由など細やかに配慮がされています。我が家は姉妹とも毎日おかわり、また幅広い食材に触れて苦手な野菜も今では喜んで食べてくれるようになりました。下の子は歯が生えるのが遅く、食べたい気持ちは強いのか丸飲み状態でご飯をほおぼるので、最近はおにぎりではなくお茶碗に小さめのスプーンで少しずつ食べる練習をしてくださっています。先生が横について「噛み噛み」と口を動かすと真似して頑張っているようです。

今年度から上の娘はこちらの園を卒業し、調子にできた新園舎『ひまわり保育園』へ通い始めました。無垢材いっぱい木ぬくもりが感じられる素敵な園舎です。毎日お散歩に出かけてザリガニを捕まえるなど自然に触れて親しむ習慣、給食内容や「自分の思いや主張をしっかりと伝えられる子に」という保育方針はそのままに、最近は鉄棒やマット遊びなど大きな動きにも挑戦しているようです。お友達とのごっこ遊びも盛んになり、まさに「子供は子供の中で育つ」を実感しています。

仕事を終えて保育園へお迎えに行くと、娘達が先生の膝に座ってくつろいでいる姿を度々目にします。先生に甘えてリラックスしている様子を見ると、先生方には本当に感謝でいっぱいの気持ちになります。そして笑顔で駆け寄ってくる子供たちを見ると一日の疲れも吹き飛びます。伸び伸びと笑顔いっぱいに成長していく我が子の姿があるから私も安心して仕事へ行くことができる、これは本当に大事なことだと感じる日々です。先生方、地域の方や支え見守ってくださる方々、今の環境に感謝するばかりです。親である私も子供たちと一緒に成長していなくてははいけませんね。今後ともどうぞよろしく願いいたします。





野菜作り

おひさまくみ

(1,2歳児)



2017年度 転園された保護者のちから

3月のおめでとうの会で野菜の種をいれはじめました。

早速4月13日 つるなしいんげん と スチ、70えんどうの種を、おひさま組みんなで植えました。お当番を決めて毎日順番に、お水やりをし行。

毎日見ているのに豆は出来ません。そんな5月の中旬のある日「や、た〜!!」

いんげん豆が出来ているのを見つけた。日に日に大きくなっていく豆。

「あ、スチ、70えんどうも出来てるよ!!」5月31日 いんげん豆とスチ、70えんどうを収穫!!

おやつに塩茹でして食べました。おどろきの豆は、とちも柔らかく 美味しかった〜

次に5月1日 キュウリとトマトの種を植えました。今年の夏は、雨が降り

続いたり猛暑で、土と心配していたので、みんなが頑張って

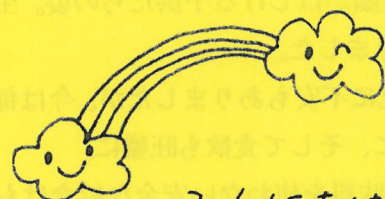
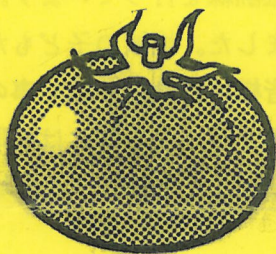
水やりをしてくれたおかげで7月初旬、初めてキュウリを収穫しました。

子供達はワクワクとトマト、あるキュウリにビックリした様子でした。嬉しげに

おどろきにキュウリは水々しくとちも甘い!! 苦手の子も食べる事が出来ました。

現在では、70トマトの収穫が、はじまっています。「今日は3コ!」「今日は2コ!」

と言って給食室に持って来てくれます。毎日いくつ取るか楽しみにしています。



にじぐみのご紹介

絵本タイム

こんにちは。にじぐみは、0歳児5名、1歳児2名の7名クラスです。8月半ばから0歳児のお友達が仲間入りし、ますますにぎやかになっています。

新年度がスタートして4月や5月は、裏の小火田川沿いや近所の公園などに散歩に出掛け、6月は泥んこ遊び

を楽しみました。また、お部屋では野菜スタンプをけり小麦粉や寒天で感触遊び!初めての感触にじっと固まる子もいけば、嬉しそうにぎゅ、ぎゅ、つんつんと触ったり握ったりする子...一人ひとり違う姿が見られました。7月からはプール遊びが始まりました!!

最近では子ども同士のかわいいやり取りが見られ、日々成長していることを実感する毎日です。

野菜スタンプを
してよ

